

【歴史】

徳川家康の死後、日光東照宮が造営された頃に、家康の家臣であった松平正綱・正信の親子2代により、20数年の歳月をかけて植えられ、日光東照宮に寄進されました。植栽が開始された1625年から400年の歴史が刻まれています。

【文化財としての位置づけ】

名称：特別史跡・特別天然記念物

日光杉並木街道附並木寄進碑

特別史跡（昭和27（1952）年3月29日指定）

特別天然記念物（昭和31（1956）年10月31日指定）

※二重指定を受けているのは、日本で唯一

【並木の長さ】

総延長37km（日光街道、例幣使街道、会津西街道）

※世界で最も長い並木道としてギネスブックにも掲載

【並木杉の本数】

12,050本（令和7年1月末現在）

二〇二五年
日光杉並木街道
植樹四〇〇年

日光杉並木植樹



杉並木を未来に紡ぐ



栃木県HP